

AOI国際病院

癌を全身検索できるMRI(DWIBS)

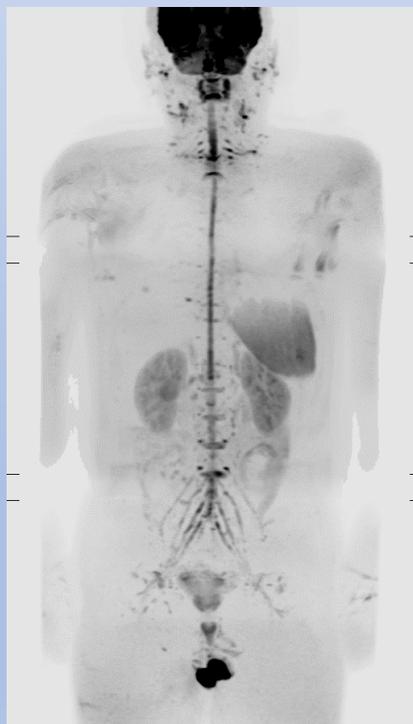
約15年ほど前よりMRI検査としてDiffusion-weight whole body imaging with background body signal suppression (DWIBS)(ドゥイブス法)が開発され、全身の拡散強調画像を一度の検査で撮影できるようになりました。DWIBS法は全身の組織から癌病変の拾い上げを可能とするとともに、癌組織の活性評価、治療効果判定を含めた経過観察等に有用性が認められています。このDWIBS法は、癌の早期発見やがんの治療効果判定に対して、次世代の新規画像診断法となりうるものと考えられています。

その方法は、電磁気による全身の内部を調べるMRI装置を使います。癌病巣に対して、拡散強調画像を一度に全身を撮影することで悪性細胞が密集している癌腫瘍が強調されて描出されます。

一方、癌病巣を検索する他の手法には、がん細胞の糖代謝を利用するPET-CT検査があります。PET-CTは糖尿病患者様にはできない場合があります。また食事制限をする必要があります。また注射薬やCT自体の放射線被爆の問題があり、注射された放射能の低下を確認するため、検査時間は3時間に及びます。このような観点から、全身MRI(DWIBS)検査は何ら制限もなく、注射も必要とせず非侵襲的であり、たった30~40分で検査が可能です。

“どこかに癌ができてゐるのでは”と心配や不安を感じている方は、どうぞこの機会にご利用いただきたいと思ひます。

AOI国際病院 院長 古川 良幸



Whole Body DWI